

創業・新事業展開の事例紹介 ～創業支援ルーム入居者のご紹介(その78)～

ウェスタ川越創業支援ルームは、様々な業種・業態の方々にご入居いただいております。創業準備中の方、個人事業から法人を設立される方、創業5年以内のスタートアップ段階の方、新分野への事業展開を目指されている方が入居されています。そこで、このコーナーでは入居者の紹介をさせていただいております。これから創業を希望される方は、創業の事例として参考にいただければ幸いです。また、この記事をお読みになり、ビジネスパートナーとしての関係を構築されたい方は、創業支援ルーム事務局かご本人宛に直接ご連絡ください。

506号室

WithGrow (ウィズグロー)

代表 金谷 知明 様

【事業内容】

令和8年3月創業。WithGrow (ウィズグロー) は、外資系IT企業で20年以上にわたり企業向けシステムのトレーニングに携わってきた代表の金谷知明とIT・小売・製造業など幅広い業種で人事実務を経験してきた妻の映末子の夫婦二人で立ち上げ

金谷代表、映末子夫人

ました。IT・業務と、人・組織。各々異なる視点を生かし、地域の中小企業の経営課題に向き合っています。

さて、「その解決策、本当に必要ですか？」

例えば、「人手不足だから採用する」「業務効率化のためにシステムを導入する」「管理職を育てるために研修を行う」。どれも課題に対する正しい解決策に見えます。しかし、目の前の問題に即対処することが、本当にその会社にとって最善なのでしょうか。

業務効率化のために工程管理ツールを導入したものの、そもそもの業務フローが整理されていないため、システムに無理やり業務を合わせることで、かえって非効率になってしまった企業様もあります。

人手不足に悩む企業様でも、業務を一つひとつ整理すると、新たな採用ではなく、一部AIに任せられるかもしれません。また、管理職研修を行っても、社内の役割や権限が曖昧なままでは、すべてを社長が判断する状態は変わりません。その場合、研修より先に役割や権限を整理する必要があります。

私達が大切にしているのは、「3年後の理想の姿は何ですか？」から考えることです。

目の前の問題だけに焦点を当てるのではなく、**経営者が実現したい3年後の姿を一緒に描く**。そのうえで、経営者や現場へのヒアリングを通じて本質的な課題を整理していきます。

その結果、必要なのは採用かもしれません。AIやシステムの導入かもしれません。人材育成や人事制度の見直しかもしれません。反対に、「今は採用しない」「システムを入れない」「研修を行わない」という結論になることもあります。

IT・業務の視点と、人・組織の視点。夫婦それぞれの経験を生かして会社を多面的に見ることで、表面に現れた問題だけにとらわれず、その会社に合った改善方法を一緒に考えていきます。

➤そして私達が目指しているのは、一時的に問題を解決することではありません。支援を通じて、**企業自身が課題に気づき、考え、改善**を続けられるようになること。「**自分たちで改善できる会社へ**」——そのための仕組みづくりを、地域企業とともに進めていきます。

【自己紹介&創業のきっかけ】

現在、夫婦2人で事業を行っています。私は三芳町出身、父の実家は約330年続く農家、妻は川越市出身、夫婦で三芳町に暮らしています。共に会社勤めでしたが、各々培ってきた経験を生かし、地元の企業のお役に立ちたいと考え、創業に至りました。地元の商工会に入会すると、中学時代の同級生との再会もありました。改めて地元を目を向けると、三芳町には多くの製造業があり、事業を受け継いだ二代目、三代目の経営者も少なくありません。私たちが培ってきた経験を活かすことで、**経営者の方々に貢献したい!!** 生まれ育った埼玉西部を中心に、企業様と一緒に成長したいと考えています。

【創業支援ルーム入居のきっかけ】

創業にあたり「**地域に根ざした活動を!**」と考えていました。その中で、創業支援ルームの存在を知り、県西部の中心の川越を拠点に活動したいとの想い、同じ境遇の入居者同士のネットワークの構築の期待等、創業間もない私達にはとても心強いと思い、応募し運よく入居出来ました。

【入居後に感じるメリット】

入居後に感じた一番のメリットは、創業支援ルームが県の施設であることから得られる私達への信頼感です。また、イベントや他の方への紹介等、事務局からの支援を受けられるのもメリットだと感じています。

【今後の事業について】

入居期間は3年間ですが、まずは着実に一歩ずつ丁寧に仕事を進め、しっかりと地元で根付くようにしてまいります。そして、卒業する頃には、相談は、「**まず、WithGrow**」と思ってもらえるようになりたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事業所名	WithGrow (ウィズグロー)
住所	川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越 506号室
電話番号	049-259-2696
URL QRコード	 
E-mail	info@withgrowbiz.com

裏面 は創業支援ルームに関するイベント情報です。

活動報告

504号室 合同会社高階電測 代表社員 矢木 昭 様

“経営革新計画策定”の取り組み開始!!

504号室 合同会社高階電測の矢木代表は創業1期目の決算を無事に終え、**新たな事業計画**に取り組んでいます。
今月号は、事業計画策定を**経営革新計画承認制度**を活用して取り組む矢木代表にお話を聞きました。

事務局：事業計画策定に取り組む目的は何ですか？

矢木代表：創業して1年目を無事に乗り切ることができました。まずは、弊社を信頼してご依頼いただいたお客様、お取引先の皆様、関係者の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、本題ですが、1年を振り返ると、頭の中で大まかな計画を立てながら、日々の業務や経営に取り組んできました。技術的な業務に長年携わってききましたが、経営する立場になって初めて知ったことや、「もっと早く実行しておけばよかった」「もっと早く方針を切り替えておけばよかった」等を感じた試行錯誤の1年だったと思います。

そうした経験から、今後は頭の中だけで考えるのではなく、具体的な**利益目標**を定め、**行動を計画的**に実行し、その進捗や効果を客観的に**評価**していくことが必要だと考えました。今回、潜在的な需要を喚起することができると確信している「**フレネルゾーンを可視化するシステム**」の**開発**を機に既存事業との相乗効果や経営を意識した事業計画の策定に取り組むことにしました。

事務局：事業計画策定を経営革新計画承認制度を活用した理由は何ですか？

矢木代表：以前、経営革新計画の承認を受けた方のお話を聞いて、機会があれば自分も取り組んでみたいと考えていました。自己完結型では、独りよがりな評価になる可能性もあるので、承認制度を利用することにより**客観的且つ、実現可能な計画が策定**できると考えました。

事務局：「経営革新計画のどのような点で活用しようという気持ちになったのか」をお教えいただけますか。

矢木代表：制度の具体的な内容を川越商工会議所に訪問し、専門家の先生を交えてお話を聞かせていただきました。**事業計画の作成**について、専門家の先生と**経営的な側面を含めてサポート**していただける点が大きいです。新たに開発しているツールで新たな市場を開拓し、技術面でも経営面でも成長できる計画を作成できそうです。

事務局：経営革新計画策定の取材状況については引き続き掲載予定です。次回以降は経営革新計画の中核となる「フレネルゾーンを可視化するシステム」の開発についてもお伺いしてまいります。次回以降もご期待ください。



【お問い合わせ先】

合同会社高階電測

事業内容：建造物建設によるテレビ電波障害調査

風力発電施設建設による各種電波調査

埼玉県川越市新宿町1-17-17 ウェスタ川越 504号

HP：QRコード（右図）

E-mail：info@takashina-densoku.com



インフォメーション

創業支援ルーム入居者募集中

埼玉県西部地域振興ふれあい拠点施設「ウェスタ川越」創業支援ルームでは、入居を希望される方を募集しております。

＜随時受け付け中＞

※毎月、1日からその月の末日で、仮申し込みを締めさせていただきます。書類審査通過の方は、個別にご連絡のうえ、翌月の平日に入居審査会を開催させていただきます。

※貸事務室利用数が満室になり次第、募集を締め切ります。

入居に関する個別相談・施設見学申し込みを、随時受け付けておりますので、事前にご連絡・お申出ください。

詳細はウェスタ川越のホームページ、もしくは、入居に関するご案内のPDFファイルをご覧ください。

※PDFダウンロードURL ⇒ https://www.westa-kawagoe.jp/download/files/nyuukyo_annai.pdf

（なお、書類提出の前に、一度事務局までご連絡ください。）



PDFダウンロード
QRコード

紙面に関するお問い合わせ

埼玉県西部地域振興ふれあい拠点施設 ウェスタ川越 創業支援ルーム

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

電話：049-249-1185 / Fax：049-249-1180

メール sougyou@westa-kawagoe.jp